



表紙作品 『 Ga:陶 』 (陶芸作品) 佐々木 優季 (2013年専攻科修了)

「Gataeu」(フランス語でケーキを意味する)と「陶芸」の融合をテーマにした作品です。
創作の楽しさと遊び心と確かな表現技術を感じさせます。

Contents

- 1 先生おすすめの一冊
- 2 視聴覚室へ行こう!
- 3 学生選書ツアー
- 4 こんな本が新しく入りました
- 5 Library Lovers' キャンペーン2013のおしらせ

先生おすすめの一冊



美術科
中原 伸浩
先生

『 MITSOU (ミツ) FORTY IMAGES BY BALTHUS 』

バルテュス 著 R.M. リルケ(序文) 1985年 Harry N Abrams Inc

独断ながら本学図書館収蔵中珠玉の、とっておきの一冊を御紹介します。

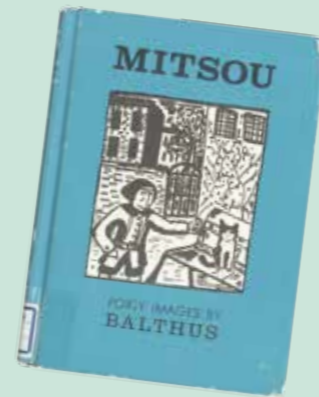
この本は、画家バルテュスがまだほんの子供の頃に、子猫ミツと暮らした日々を描き、この絵を見た詩人リルケが、これは世に出さなければと、小さな絵本の形にして出版したのだそうです。

見開きに1枚ずつ、誰もがわかる物語が40枚の、白地に黒の小さな絵によって描かれているだけのささやかなものです。木版画のように見えますが、筆と黒いインクだけで描かれているらしく、素朴で飾らず親しみやすい故に一層高貴です。

大人も子供も誰もが日々生きていて、よくわかっているけれど忘れていて、目には見えないとてもたいせつな、絶対に言い表せないなにかが、ひと言の言葉もない完全な沈黙とおして響いて来ます。いつ見ても信じられないのですが、これを描いた子供は、観照という、芸術に不可欠な態度を既に自分のものにしており、後年の彼の、画家としての作品に勝るとも劣るものはありません。

表現し伝えることの可能なあらゆる感情とそれを超える何かによって、ひとを観照の神秘に接続融合させることは最高の芸術にしてはじめて可能です。カザルスの演奏の感動に近い。これは目に見える奇跡だと思います。

(なかはら のぶひろ/油絵)



音楽科
宮添奈央子
先生

『 ピアニストその人生 』

園田高弘 著 2005年(春秋社)

恩師、故園田高弘先生(大分出身2004年逝去)の自伝書を8年ぶりに読み返してみた。先生は76歳の生涯を、日本を代表する世界的ピアニストとしてご活躍された。亡くなる前月にはラフマニノフのピアノ協奏曲を弾かれている。

この著には、チェリビダッケやカラヤンといった世紀の名指揮者他、サンソン・フランソワやロンティボーコンクールの創立者マルグリット・ロンなどピアノ史に重要な演奏家が多く出てきて、先生の交流関係の凄さに驚く。私達の学生時代は、今のようにYouTubeで誰もが色々な情報をすぐに手に入れることは出来なかったのが、名ピアニストのレコードやCDを繰り返し聴き、そのタッチや表現力について想像を膨らませたものである。その憧れの音楽家たちが生身の人間として描かれ、また戦後、奥様とたったお二人でまだまだ日本人には未知なヨーロッパで、世界的演奏家として認められていく様を自分も一緒に体験していくようで、興奮する。大変なご苦労であったことと思う。日本人ピアニストの先駆者であった先生の偉業を改めて思うと共に、弟子として受け継いでいかねばならないことが多いと自分を見直すことが出来た。

(みやぞえ なおこ/ピアノ)



国際総合学科
植村 修一
先生

『子ぎつねヘレンがのこしたもの』

竹田津実 著 1999年偕成社、2005年に文庫化、2006年に映画化

物語は、北海道在住の獣医師(大分県出身)のもとに、一匹の子ぎつねが持ち込まれるところから始まります。道端にたたずんで何時間も動かない子ぎつねの様子から、交通事故に遭ったと思われたのです。この医師のもとには、これまでも傷ついた動物たちが運び込まれ、その都度医師は、「やれやれ」と思いながら、治療して野に返したり、そのまま

面倒を見続けたりしました。もちろん、治療代や入院費は誰も払ってくれません。

結局わかったことは、この子は事故のせいか脳に障害を抱え、視力や聴覚がほとんど失われているということでした。それでも医師夫妻が懸命に看護を続けた結果、何とか食事をし、海辺の砂丘で短い散歩もできるようになりました。そして、ヘレン・ケラーにちなんで、ヘレンと名付けられました。

でもそんな日は長く続きません。次第に脳の発作で苦しむようになり、1ヶ月後にはなくなりました。最後はやさしい顔に戻り、シッポを振って。

「死ぬためにやってきたとしか思えないヘレンが、いったいなにをわたしに伝えたかったのだろうか」との著者の結びの言葉が、いつまでも私の心に残っています。

(うえむら しゅういち/経営学)



情報コミュニケーション学科
柴田 雄企
先生

『おばあちゃんが、ぼけた。』

村瀬孝生 著 2007年(理論社)

芸短の図書館で、たまたまタイトルが目にとまりました。句読点のあるタイトルかあ。ページをめくってみると、おっ、いきなり4コマ漫画がある。何だか面白そうだなと思い、借りて読んでみると、笑って泣いて考えさせられるのでした。

この本は、老人福祉の仕事をしている著者が、介護のなかでの様々なエピソードをまじえながら、認知症高齢者と周囲の人々の日常を綴っています。認知症高齢者に対する、著者の暖かい眼差しから、認知症に対する見方も変わるのではないかと思います。この本を開くと、人に対して穏やかに接することができるような気がします。

著者は言います。『「ぼけ」ることが素晴らしいなんて思わない。素晴らしいと思えることは、人はたとえ「ぼけ」ても一生懸命に生きるということ。そのことを認めない社会をほくたちは望まない。』

認知症高齢者とのコミュニケーションは難しいですが、エピソードの中には、認知症高齢者とコミュニケーションする際の、著者の工夫も描かれています。さあ、この1冊でぼけを学ぼう!

(しばた ゆうき/臨床心理学)



学生選書ツアー



学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについて、コメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計100冊の本は、学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。

学生選書ツアーに参加して

今まで何度か選書ツアーの参加を希望しており、今回初めて美術科代表として参加させて頂けることになりました。お知らせを頂いたときは嬉しかったのですが、同時に、沢山のの人に読んでもらえる有益な本を入れなければ、という使命感で緊張しました。ぜひ入れたいと思う本をピックアップして行ったのですが、書店で探してみてもない本が何冊もあり、事前に在庫を確認すればよかったというのが反省点です。一人2万円分選ぶことができたのですが、普段大人買いをすることがないので、その場で好きな本を選んでいいと言われてもなかなか選べませんでした。職員の方もおっしゃっていましたが、「無数の本の中から図書館に入れるべきものを選ぶ難しさ」というのを感じました。ほぼ学術書で構成されている大学の図書館は多いです。

参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 2年 西本 美穂

『スタイルズ荘の怪事件』

アガサ・クリスティー 著 (早川書房)

アガサ・クリスティーのデビュー作である本書は、典型的な謎解きミステリで読み進めやすいと思います。ホームズに次ぐ有名な探偵ボアロが初登場する作品でもあります。推理小説に興味はあるけど何から読めば良いかわからないという方は、本書から読み始めてみてはいかがでしょうか。



『永井一正ポスター美術館』

永井 一正 著 (六耀社)

永井さんはデザイン人生約60年、日本のデザイン界を支えてきた人です。本書は600ページあるなかそのほとんどが永井さんのポスター画になっています。全作品カラーで、そのボリュームに驚きます。デザイン関係の本書ですが、他学科の学生、先生方にもパラパラとでも良いと思いますのでぜひ見ていただきたいです。



美術科 2年 高橋 若奈

『仕事・人間関係「最近なにもかもうまくいかない」と思ったら読む本』

心屋仁之助 著 (中経出版)

「うまくいかない考え方」を「うまくいく考え方」に！図解ですが耳が痛いことを言われ、実は1回目は素直に受け取れませんでした。すぐ納得できない部分もありました。2回目静かな気持ちで読むと、筆者の言っている意味を理解できた気がします。読んでよかったと思いました。精神的に参りすぎる前に読んでほしいです！



『宮崎駿の雑想ノート』

宮崎 駿 著 (大日本絵画)

宮崎駿さんの、戦車や軍艦、戦闘機など、軍事関係の豊富な知識と妄想による超趣味的世界がものすごい密度で広がっています。薄い本ですが内容のボリュームに舌を巻きます。軍事マニアの方や、駿さんの絵が大好きな人におすすめです。紅の豚の原作も収録されています。



音楽科 1年 野中あをい

『ママのおなかをえらんできたよ。』

池川 明 著 (リヨン社)

胎内記憶という言葉を知っていますか？この本は赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいた時の記憶を紹介しています。親でもないし、興味もないや、などと思わずに気軽に雑誌を見る感覚で手に取ってもらいたい一冊です。ふしぎと読んで後心がほっこりします！



『九つの、物語』

橋本 紡 著 (集英社)

大学生の女の子の話。死んだはずの兄が何故か家に居て、料理まで作ってくれる!?そんな兄と共に自分や周りや向かい彼女は少しずつ人として成長していく。九つの近代文学を織り交ぜて紡がれる優しく、どこか儚くて、勇気をもらえる物語。大学生である今是非読んでみて欲しい。



音楽科 1年 山田もみじ

『ハイドラ』

金原ひとみ 著 (新潮社)

愛を求めては傷付く主人公サキに共感せずにはられない作品です。躍動感のある文章と一人称による適確な心理描写が、読む人を更に惹きつけます。金原さんと言えば「蛇にピアス」で芥川賞を受賞したことで有名ですが、私はこの作品が一番好きなので是非読んでみて下さい。



『ときめくカエル図鑑』

高山ビツキ 著 (山と溪谷社)

カエル=気持ち悪い、というイメージはありませんか？カエルはとっても魅力的で不思議な生き物です。色も形も様々で、中には美し過ぎる(!)カエルもいるので、ファッション誌を見る感覚で手に取って欲しいです。意外とハマっちゃうかも!?

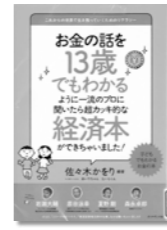


国際文化学科 2年 河野小雪紀

『お金の話を13歳でもわかるように一流のプロに聞いた超カッパ的な経済本ができました!』

佐々木かをり 編著 (ダイヤモンド社)

お金はどのようにできたのか、どうやって儲けるのか、株式とは?という経済の話を知りたいという一冊です。毎日の生活やニュースなどで出てくる言葉の意味や社会の仕組みを知ることができると、子供でも大人も勉強になると思います。



『僕の父は母を殺した』

大山 寛人 著 (朝日新聞出版)

タイトルが目に入った衝撃を受けたのでこの本を選びました。作者の父は自身の養父と妻を殺害しました。そのせいで「人殺しの息子」と呼ばれる日々を送り、心も身体もボロボロになってしまった作者。そんな作者がどのように立ち直っていったのかという体験がそのまま書かれている作品です。



国際文化学科 2年 小林 綾香

『家族ゲーム』

本間 洋平 著 (集英社)

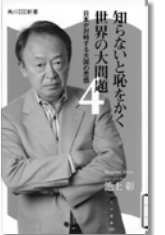
81年すばる文学賞を受賞したこの本は、家庭教師・吉本とともに、様々な問題を抱える沼田家が受験に振り回される様子をコミカルに描いています。今年ドラマ化されましたが、違いを探してみるのも面白いと思います。時代は80年代の受験戦争時代ですが、現代の私たちでも十分に共感できる内容です。



『知らない恥をかく世界の大问题4』

池上 彰 著 (角川マガジンス)

2012年、世界の大国のトップが次々と交代し、世界が大きく動いた年でした。グローバル社会となった現代、世界の大问题を知ることは重要だと思います。この本で現在世界が直面する問題について、詳しく、わかりやすく知ることができました。今後の世界で、私たちはどう生きていけばいいのかを考えさせてくれる本です。



情報コミュニケーション学科 2年 安井結葵乃

『ドラえもん短歌』

柊野 浩一 著 (小学館)

「未来から突然きみが現れた これは一緒に住むべきなのか」これは、この本に盛り込まれた短歌のうちのひとつです。「ドラえもん」の仲間たちやみつ道具に対する思いを短歌で表現した一冊になっています。「ドラえもん」の挿絵もあって楽しく読めると思うので、ぜひ一度手に取ってみてください。



『十二番目の天使』

オグ・マンディーノ 著 (求龍堂)

物語は、主人公であるジョンが最愛の妻と息子を失ったことで生きることを諦め、自殺しようとするところから始まります。たとえ、どんなに辛いことや苦しいことがあっても、決して諦めてはいけません!毎日を精一杯生きることの意味を私たちに教えてくれる、涙なくしては読めない物語です。



情報コミュニケーション学科 2年 三島 郁香

『僕と「彼女」の首なし死体』

白石かおる 著 (角川書店)

「僕は知りたいんです」ハチ公前に置かれた特徴的な生首、日常を引っ掻き回す出来事多発、四菱商社のサラリーマン白石かおるの非日常よりの日常、彼自身が事件に巻き込まれる性質なのか…。『誰もが僕に「探偵」をやらせたがる』もよろしくお祈りします。



『「初対面の3分」で誰とも仲良くなれる本』

新田 龍 著 (中経出版)

スマホをこの本に持ち変えるだけで、現実での会話スキルアップ。1時間程度で読み切れるので電車での移動時間や、休み時間のスキマ時間に読むだけ、主要部分を太字で書いてあるので活字嫌いでも読みやすい。



視聴覚室へ 行こう!

■ ~視聴覚室おすすめのディスク~

マーラー：交響曲第7番《夜の歌》、
第8番《千人の交響曲》

指揮：レナード・バーンスタイン、
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ほか



美術科
荻野 哉 先生

《ニュー・シネマ・パラダイス》(劇場公開版)
《ニュー・シネマ・パラダイス》(完全オリジナル版)

私がマーラーの《千人の交響曲》の存在を知ったのは、高校2年の時です。ラジオから流れる「大宇宙が響き始める様子」(メンゲルベルク宛の手紙の中で、マーラー自身がこう述べています)にとりこになり、いつか直接体験したいと思うようになりました。大学1年の秋、NHKホールでその夢がかなった時の感激は忘れられません。外国のオーケストラ(シノーポリ指揮、フィルハーモニア管弦楽団)の生演奏に接したのも、もちろん初めてでした。

《ニュー・シネマ・パラダイス》が日本で公開され大ヒットしたのは、その翌年(大学2年)の冬のことです。美学研究者のはしくれとしてさまざまな映画を観てきましたが、今でもパンフレットを残しているのはこの作品だけです。そして、「自分のすることを愛せ。子供の時、映写室を愛したように」というアルフレードの台詞の魔法にかかったかのように、2種類のDVDを購入したのも、やはりこの作品だけです。

あれから20年以上が経ちました。シノーポリもフィリップ・ノワレも鬼籍に入りました。新聞記者や作家にあこがれていた私は、大学教員という想像だにできなかった道に踏みこんでしまいました。そして、《千人の交響曲》を生み出したマーラーや、映画の中のサルヴァトーレの年代に自分が近づいていることに、半ば苦笑してしまいます。ただ、この文章を読んでいる学生のみなさんと同じ時期に出会った二つの作品が、今でも私の肩を時々ポンと押してくれる貴重な存在であることは確かです。多くの方々が見聴覚室でそうした出会いを体験されることを、願ってやみません。

両作品のDVDについて、最後に補足を。バーンスタインのライヴは、完璧な出来とは正直言えないかもしれませんが、さすが、マーラーの複雑な世界観を聴衆に伝える能力にこの指揮者がどれほどたけていたかは、改めて認識できます。《ニュー・シネマ・パラダイス》に関しては、劇場公開版と完全オリジナル版のどちらが優れているか、意見が分かれています。私自身は、以前は理解しづかった後者の深みが、最近ちょっと分かってきた気がします。いずれのバージョンでも、ジャック・ペランの演技力にはうならされます。

(おぎの はじめ/美学)



視聴覚室利用ガイド

- ☆ 視聴覚室(2階)ではオペラやクラシック、映画などを鑑賞することができます。
- ☆ 視聴機器を入れ替え、新しい映画のDVDも多数いれていますのでご利用ください。
- ☆ 友達と一緒に観たい場合は大型テレビのあるグループ学習室をご利用ください。
- ☆ DVDは貸出できませんが、CDは借りることができます。

利用時間 12:30~19:00(月曜~金曜)

こんな本が新しく入りました

2013年4月~9月までの新着資料の中から、学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介します。

学科	図書ラベル	場所	書名	著者	学科	図書ラベル	場所	書名	著者
美術科	022.5/Y74	関3	横尾忠則全装幀集：1957-2012	横尾忠則	音楽科	761/Ki51	関1	普遍音楽：調和と不調和の大いなる術	アタナシウス・キルヒャー
	460.4/F82	関2	遺伝子はダメなあなたを愛してる	福岡伸一		762.34/Kn3	関1	ベートーヴェンと変革の時代	フリーダ・ナイト
	501.8/G75	関2	ようこそようこそはじまりのデザイン	graf		762.35/D99	関1	デュティユーとの対話：音の神秘と記憶	アンリ・デュティユー
	702.3/St3	関1	ルネサンス美術解説図鑑	リチャード・ステンブ		768.4/A86	指定	能の音楽性と実際	浅見眞高
	702/I91	関1	最後の画家たち：20世紀末芸術論	伊藤俊治		B8.42/Hol/Ito	関1	吹奏楽のための第2組曲へ長調	Gustav Holst
	748/R82	関1	Thomas Ruff : Modernism	Thomas Ruff		B8.42/Sca/GB	関1	Trois Pièces = 3つの小品(サクソフォン四重奏曲)	Domenico Scarlatti
	720/Na	口視	奈良美智×村上隆ニューポップ宣言 [映像資料]	奈良美智 村上隆		B9.0/Ve/KOL	関1	Aida : act II finale = アイーダ	Giuseppe Verdi
国際総合学科	302.76/Y31	指定	ハワイを知るための60章	山本真鳥 山田亨	情報コミュニケーション学科	141.21/Y24	関3	視覚世界の謎に迫る：脳と視覚の実験心理学	山口真美
	372.21/P16	関2	「国語」を再生産する戦後空間	朴貞蘭		379.6/U32/71	関2	プレイフル・ラーニング：ワークショップの源流と学びの未来	上田信行 中原淳
	382.21/P23	関2	ソウルスタイル：韓国のそこが知りたい55	朴大王		675.3/Ta78	関2	コンセプトのつくりかた：「つくる」を考える方法	玉樹真一郎
	837.7/O93	関3	Oxford bookworms library			780/H92	関2	基礎から学ぶスポーツリテラシー	高橋健夫 [ほか]
	301/U42	関2	リスクとの遭遇	植村修一		916/Su56	関3	突然、僕は殺人犯にされた：ネット中傷被害を受けた10年間	スマイリーキクチ
	290/Se	口視	世界ふれあい街歩き BOX [映像資料]			380/Se	口視	世界のあそび アジア編：多文化共生保育ビデオ [映像資料]	
図書館	778(W)/Ni	口視	ニーチェの馬 [映像資料]		775/Sh/1	口視	白石加代子「百物語」シリーズ [映像資料]	出演：白石加代子	
	007.5/O26	関3	調べるって楽しい!：インターネットに情報源を探す	大串夏身	689.2/Mi93	関2	由布院ものがたり：「玉の湯」溝口薫平に聞く	溝口薫平 [述] 野口智弘著	
	292.7/H26	関3	アラブからこんにちは	ハムダなおこ	913.6/F64	関3	爪と目(第149回芥川賞)	藤野可織	
	377/Ta83/2013-14	資格検定	まるわかり!大学編入：はじめての大学編入		913.6/H99/上・下	関3	海賊とよばれた男 上・下(2013年本屋大賞)	百田尚樹	
596.7/O34	関2	Oita Cafe Style 2013		913.6/Sa46	関3	ホテルローヤル(第149回直木賞)	桜木紫乃		

※関1：第1閲覧室、関2：第2閲覧室、関3：第3閲覧室、指定：第2閲覧室(指定書)、資格・検定：第2閲覧室(資格・検定)、口視：ロビー(視聴覚資料コーナー)
※[映像資料]は視聴覚室またはグループ学習室で鑑賞できます。

図書館員注目の一冊!



『完全版 ゴッホの遺言』
小林英樹 著 723.35/Ko12 第1閲覧室

ゴッホのスケッチが贋作だと論証し、弟テオ、その妻ヨーとの関係から自殺への真相に迫る。本作は2000年日本推理作家協会賞を受賞したが、著者は実技系の教員(愛知県立芸術大学美術学部油画専攻教授(〜25.3))である。(みよし)



『たんぽぽ娘』
ロバート・F・ヤング 著 933.7/Y95 第3閲覧室

アメリカのSF作家ロバート・F・ヤングの短編集。表題作「たんぽぽ娘」は、未来から来た少女と主人公の交流と淡い恋が描かれます。ラストのオチにじんわりとするロマンチックなお話です。SFが初めての人もとても読みやすい本です。(こてがわ)



『ディズニーありがとうの神様が教えてくれたこと』
鎌田 洋 著 689.5/Ka31 第2閲覧室

ディズニーランドの基本理念「おもてなし」は、誰もが「愛に溢れたあるべき姿」になれるHappyな魔法をかけてくれます。読み終えた後、誰かに「ありがとう」を伝えたくなる本です。(うしじま)



『謎の独立国家ソマリランド：そして海賊国家プントランドと戦国南部ソマリア』
高野秀行 著 302.4/Ta47 第2閲覧室

“ソマリア”ではない、アフリカ東端に位置する入国方法不明の謎の国家“ソマリランド共和国”に突撃取材。509Pと大ボリュームですが、驚異の筆致でグイグイと引き込まれた一冊です。(うりゅう)



九州地区大学図書館協議会事業 Library Lovers' キャンペーン2013に参加します!

Library Lovers'キャンペーンとは…?

図書館を好きになってもらいたい
図書館を、様々な本や知識、そして人との出会いの場にしたい

というコンセプトの元、毎年秋に、九州地区の国公立大学および高専図書館で行っている共同の図書館イベントです。
今年、当館も本キャンペーンに初参加することになりました。
当館のキャンペーンは10月21日(月)～11月15日(金)まで、図書館1階のロビーにて行います。この秋、芸短図書館内にも芋畑が出現…?!
ぜひ、附属図書館までお越しください!



Library Lovers'
キャンペーン2013特設サイト

URL: <http://librarylovers2013.blog.fc2.com/>



合同
企画

収穫の秋、読書の芋。

～九州まるっと収穫祭!～

10月21日(月)～11月15日(金)
場所 図書館1階・ロビー

学生・教員のみなさんからそれぞれおすすめの本・映画・音楽のコメントを募集していく展示企画です。

学生から集まったコメントを“芋”に、教員から集まったコメントを“葉っぱ”に、見立てて、図書館内に巨大な“芋畑”を作っていきます。

おすすめのテーマは下の5つの“品種”から選んでください。

- やる気芋 (やる気が出るジャンル)
- ほっこり芋 (癒し系ジャンル)
- しんみり芋 (しんみりするジャンル)
- 衝撃の芋 (衝撃を受けたジャンル)
- なんでも芋 (そのほか)

合同企画 参加方法



図書館ロビーに“芋”のシートを置いてあります。
おすすめする本のテーマに沿った芋のシートの色を選んで、

- ・あなたのペンネーム
- ・おすすめする本 (音楽・映画でも可)
- ・コメント

をご自由にお書きください。書き終わった“芋”のシートはロビーに設置している“芋畑”へ貼り付けて、畑をどんどん拡大させていってください。

* シートの枚数制限はありません。
おすすめしたいタイトルの数だけふるってご参加ください!



ロビーに“葉っぱ”のシートを置いてあります。
学生と同じ要領でシートにコメントをご記入ください。

* 教員のコメントはブックログにアップするようになっています。
WEBへの掲載不可の先生は別途、図書館までお知らせください。

WEB連動
企画

集まったみなさんのおすすめコメントは
WEBサイト **ブックログ** に
掲載されていきます!
(*許可を頂いた方のみ掲載)

他大学イチ押しのお書・音楽・映画情報も見られます。
九州地区大学図書館で大きな知識の“畑”を育てて
いきましょう!

Library Lovers' キャンペーン2013ブックログ
<http://booklog.jp/users/librarylovers13>



学生リクエストを利用しよう!

本学図書館または県立図書館にない資料(楽譜含む)の購入リクエストをすることができますよ。

*ただし、ライトノベルや漫画など図書館の収書方針に合わない資料は購入できません。



ほん太

大分県立芸術文化短期大学附属図書館
図書館だより No. 21

発行日 2013年10月25日発行
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号
TEL・FAX (097) 545-4235
<http://www.oita-pjc.ac.jp/library/>
図書館キャラクターデザイン: 若杉郁子